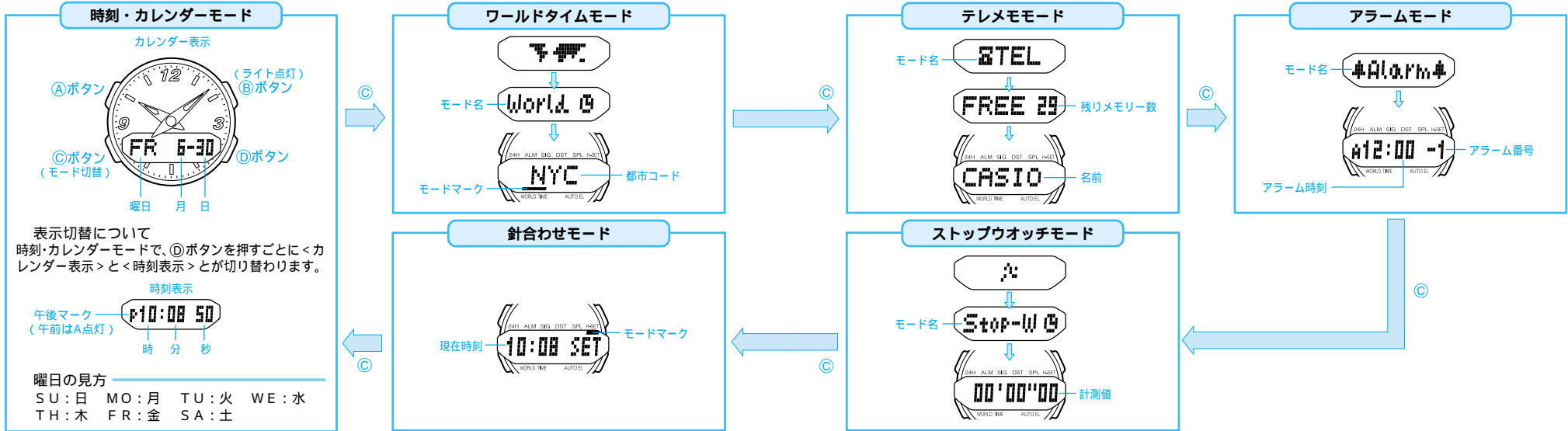


操作のしくみと表示の見方

◎ ボタンを押すと以下の順でデジタル部のモードが切り替わります。



表示照明用 EL バックライトについて

本機の表示部にはELパネル(エレクトロルミネッセンスパネル)が内蔵されており、暗いときに表示を明るくして見ることができます。また、時計を傾けると文字板が発光するオートライト機能もあります。

ボタンを押して発光させる

~手動発光~

- ◎ ボタンを押します
- ⇒ ◎ ボタンを押すと約 1.5 秒間デジタル部が発光します。



◎ ボタンを 5 秒押し続けるとその時点で発光が消えます。オートライトOFFのときも◎ ボタンを押すと発光します。

時計を傾けて発光させる

~オートライト機能~

オートライトは、ボタンを押さなくても文字板が発光する便利な機能です。暗い場所で、時刻やストップウォッチの計測値などを見るときに大変便利です。オートライト機能では、どのモードのときでも、時計を傾げるだけでデジタル部が約 1.5 秒間発光します。

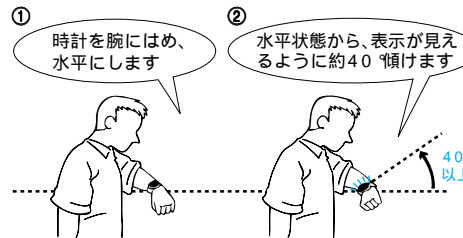
準備: 時刻・カレンダーモードのとき◎ ボタンを 1 ~ 2 秒間押し続けて、オートライトON(オートライトONマーク点灯)にします。



オートライトONマーク
 オートライト作動します オートライト作動しません

オートライトONのとき、◎ ボタンを 1 ~ 2 秒間押し続けるとオートライトOFF(オートライトONマーク不点灯)に戻ります。オートライトON/OFF設定は、時刻・カレンダーモードのときのみ行えます。

文字板を発光させる



オートライト機能を使用するときは、時計を「手首の外側」にくるようにつけてください。文字板の左右(3時 - 9時方向)の角度を±15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると発光しにくくなります。



EL 発光についてのご注意

直射日光下では発光が見えにくくなります。発光中に◎ ボタン以外のいずれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと発光を中断します。発光中に時計本体より音が聞こえることがあります。これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

オートライトご使用時の注意

オートライトが作動するのは、「オートライトONマーク」を点灯させてから約6時間です。それ以降は電池消費防止のため、自動的に「オートライトONマーク」が消え、オートライトOFFになります。引き続きオートライトを作動させたいときは、再度◎ ボタンを 1 ~ 2 秒間押しして「オートライトONマーク」を点灯させてください。ただし、オートライトを頻繁に使用すると電池寿命が短くなりますのでご注意ください。(19 ページ「製品仕様」参照) 時計を傾けたとき、文字板の発光が一瞬遅れることがあります。異常ではありません。

文字板発光後、時計を傾けたままにしていても、発光は約 1.5 秒間のみとなります。

時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上にあげたりしても発光することはありません。オートライトを使用しないときは必ずOFFにしておいてください。

時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトをOFFにしてご使用ください。

静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、発光しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも発光しにくいときは、腕を下からふりあげてみると発光しやすくなります。

ワールドタイムの使い方 ㊟ ボタンを押して、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムモードでは、世界29タイムゾーン(27都市)の時刻および世界標準時(GMT)の時刻を簡単に知ることができます。

ワールドタイムモードに切り替えると、前回選んだ都市コードを表示します。
時刻・カレンダーモードでホームタイムおよび都市コードをセットすると、時差にしたがい他の都市の時刻も自動的にセットされます。
ワールドタイムの「秒」はホームタイムの「秒」に連動しています。
ホームタイムを24時間制にしているときは、ワールドタイムも自動的に24時間制で表示されます。

(2)ワールドタイムを見る

㊟ ボタンを押します

→ 選ばれている都市の時刻を表示します。

㊟ ボタンを押すと都市コード表示に戻ります。



ワールドタイム

サマータイムの設定

(1)ワールドタイムモードのとき、㊟ ボタンを押してサマータイム設定したい都市コードを選びます。

(2) ㊟ ボタンを約2秒間押しします

→ DST ON マークが点灯して、サマータイム設定*になります。
*サマータイム設定時の表示は、通常の時刻より1時間早まります。DSTはサマータイムを意味する「Daylight Saving Time」の略語です。

DST ON マークが点灯しているときに、㊟ ボタンを約2秒間押しすると通常の時刻に戻ります。
各都市ごとにサマータイムの設定ができます。
“GMT”表示のときは、サマータイム設定はできません。



DST ON マーク

1時間進む

都市のサーチ

(1)見たい都市コードを探す

ワールドタイムモードのとき、㊟ ボタンを押します

→ ㊟ ボタンを押すごとに「都市コード」が進みます。押し続けると早送りします。
都市コードのないタイムゾーンは、時差を表示します。



都市コード

テレメモ機能の使い方 ㊟ ボタンを押して、テレメモモードにします。

テレメモモードでは、1件につき名前8文字、電話番号14桁を最大30件メモリーできます。

テレメモモードに切り替えると、残りメモリー数を表示後、前回このモードで最後に見た名前を表示します。
データを入力すると、名前順に並び替え(自動ソート*)が行われます。
*自動ソート... 記憶されたデータは名前の先頭から比較し、自動的に整理されます。比較順はアルファベット(A~Z)、数字(0~9)、記号(-./:/')です。

テレメモデータのサーチ

(1)見たい表示(名前)を探す

テレメモモードのとき、㊟ ボタンを押します

→ ㊟ ボタンを押すごとに名前順に進みます。押し続けると早送りします。



名前

(2)電話番号を見る

㊟ ボタンを押します

→ 電話番号を表示します。

㊟ ボタンを押すと名前表示に戻ります。

名前が7文字以上、電話番号が10桁以上のときは、右から左に流れるスクロール表示となります。(データの最後に“▲”マークがつかます)なお、スクロールは2~3分後に止まります。



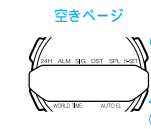
電話番号

テレメモデータを入力する

(1)空きページを選ぶ

テレメモモードのとき、㊟ ボタンを押して、空きページを表示させます

㊟ ボタンと㊟ ボタンを同時に押すと、空きページを表示します。
データがすでに30件メモリーされているときは不要なデータを消去しておいてください。(「テレメモデータを消去する」参照)



空きページ

都市コード一覧

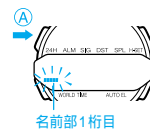
コード	都市名	時差	同一標準時の他の都市	コード	都市名	時差	同一標準時の他の都市
- - -		- 11	バゴバゴ	CAI	カイロ	+ 2	アテネ、ヘルシンキ、ペイルート
HNL	ホノルル	- 10	パペーテ	JRS	エルサレム		
ANC	アンカレジ	- 9	ノーム	JED	ジッダ	+ 3	クウェート
LAX	ロサンゼルス	- 8	サンフランシスコ、ラスベガス、シアトル	THR	テヘラン	+ 3.5	
DEN	デンバー	- 7	エルパソ、エドモントン	DXB	ドバイ	+ 4	アブダビ
CHI	シカゴ	- 6	ヒューストン、メキシコシティ	KBL	カブール	+ 4.5	
NYC	ニューヨーク	- 5	モントリオール、マイアミ、ボストン	KHI	カラチ	+ 5	
CCS	カラカス	- 4	サンティアゴ	DEL	デリー	+ 5.5	
RIO	リオデジャネイロ	- 3	サンパウロ、ブエノスアイレス	DAC	ダッカ	+ 6	
- - -		- 2		RGN	ヤンゴン	+ 6.5	
- - -		- 1	アゾレス諸島	BKK	バンコク	+ 7	ジャカルタ、ハノイ
GMT		± 0	<グリニッジ標準時>	HKG	ホンコン(香港)	+ 8	シンガポール、クアラルンプール、北京、台北、マニラ
LON	ロンドン	± 0	ダブリン	TYO	東京	+ 9	ソウル、平壤
PAR	パリ	+ 1	ローマ、マドリード、フランクフルト	ADL	アデレード	+ 9.5	
				SYD	シドニー	+ 10	グアム
				NOU	ヌーメア	+ 11	ポートビラ
				WLG	ウェリントン	+ 12	クライストチャーチ

この表は1999年12月現在作成のものです。
この表の時差はグリニッジ標準時(協定世界時:UTC)を基準としたものです。

(2)セット状態にする

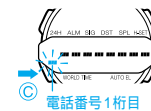
㊟ ボタンを約2秒間押しします

→ 名前部1桁目が点滅します。



名前部1桁目

名前部の入力が終わりましたら、㊟ ボタンを押して点滅箇所を電話番号部に移動させます。(右図)



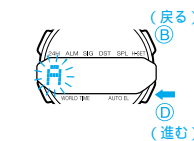
電話番号1桁目

(3)点滅箇所のセット

㊟ または㊟ ボタンを押します

→ ㊟ ボタンを押すごとに点滅箇所の文字(数字)が進み、㊟ ボタンを押すごとに戻ります。

㊟ ・㊟ ボタンとも、押し続けると早送りします。



(戻る)

(進む)

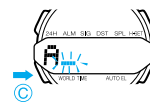
(3)~(4)の操作を繰り返して、名前・電話番号を入力していきます。

名前は最大8文字、電話番号は最大14桁まで入力できます。
入力できる文字は、名前部セットのときは(空白)、アルファベット(A~Z)、数字(0~9)、記号(-./:/')で、番号部セットのときは-、0~9、(空白)です。

(4)セット箇所を選ぶ

㊟ ボタンを押します

→ ㊟ ボタンを押すごとに点滅箇所が「名前部1桁目~8桁目 電話番号1桁目~14桁目 名前部1桁目...」の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。



(5)セットを終わる

㊟ ボタンを押します

→ 空きページが1件以上あるときは、ソート表示後、セット表示となり、続けて他のデータを入力することができます。もう一度㊟ ボタンを押すと、点滅が止まります。

点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。

テレメモデータを修正する

- ① ボタンを押して修正したいページを選びます。
- ② ④ ボタンを約 2 秒間押しします。
→ 名前部の 1 桁目が点滅します。
- 修正したい部分まで ③ ボタンを押して点滅を送り、⑤ または ⑥ ボタンを押して文字（数字）を修正します。
- 修正が終わりましたら、④ ボタンを押します。

テレメモデータを消去する

- ① ① ボタンを押して消去したいページを選びます。
- ② ④ ボタンを約 2 秒間押しします。
→ 名前部の 1 桁目が点滅します。
- ③ ① ボタンと ⑥ ボタンを同時に押しします。
→ “CLEAR” 表示後、データが 1 件消去されます。
このとき引き続き他のデータを入力することができます。
- 消去が終わりましたら、④ ボタンを押します。



(3)~(4)の操作を繰り返して、アラーム時刻をセットします。

「時」のセットのとき午前（A）/午後（P）または 24 時間制にご注意ください。
ホームタイムを 24 時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に 24 時間制で表示されます。

(5)セットを終わる

④ ボタンを押します

→ 点滅が止まり、セット完了です。
点滅表示のまま 2 ~ 3 分間すると、自動的に点滅が止まります。

鳴っているアラーム音を止めるには

いずれかのボタンを押します。

モニターアラーム

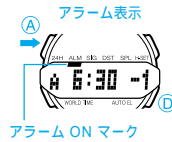
アラームモードのとき、⑤ ボタンを約 2 秒間押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

アラーム・時報のON / OFF設定

準備：アラームモードのとき、⑤ ボタンを押して、鳴らしたいアラーム番号を選びます。また、時報を鳴らしたいときは時報（SIGNAL）表示を選びます。

④ ボタンを押します

→ ④ ボタンを押すごとに、マークが点灯 / 消灯します。それぞれのマークが点灯しているときに ON となり、アラーム・時報が鳴ります。



アラーム・時報の使い方 ③ ボタンを押して、アラームモードにします。

本機には、時分を設定できるアラームが 5 本あります。設定した時刻になると 20 秒間の電子音が鳴ります。また、毎正時（00 分）に時報を鳴らすこともできます。

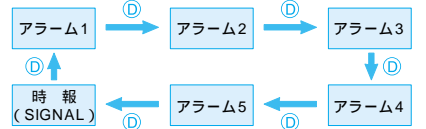
アラーム・時報はデジタル部のホームタイムに合わせて鳴ります。

アラーム時刻のセット

(1)アラーム番号を選ぶ

アラームモードのとき、⑤ ボタンを押します

→ ⑤ ボタンを押すごとに以下の順で表示が切り替わりますので、セットしたアラーム番号を選びます。

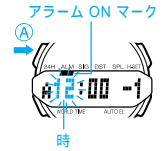


(2)セット状態にする

④ ボタンを約 2 秒間押しします

→ アラーム時刻の「時」が点滅します。

このとき、アラームが自動的に ON になり、アラーム ON マークが点灯します。



(3)セット箇所を選ぶ

③ ボタンを押します

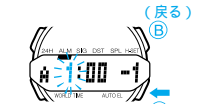
→ ③ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」「分」で移動しますので、合わせた箇所を点滅させます。



(4)点滅箇所のセット

⑤ または ⑥ ボタンを押します

→ ⑤ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、⑥ ボタンを押すごとに戻ります。



⑤・⑥ ボタンとも、押し続けると早送りします。

ストップウォッチの使い方 ③ ボタンを押して、ストップウォッチモードにします。

ストップウォッチは 1/100 秒単位で 59 分 59 秒 99 (60 分計) まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に 0 に戻って計測し続けます。

計測のしかた

ストップウォッチモードのとき、⑤ ボタンを押します

→ ⑤ ボタンを押すごとに、計測がスタート / ストップします。



通常計測



スタート ストップ リセット

< 積算計測 >

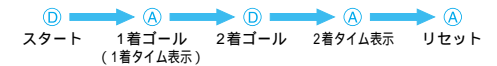
ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずに ⑤ ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

スプリットタイム（途中経過時間）の計測



スタート スプリット スプリット解除 ストップ リセット

1・2 着同時計測



スタート 1着ゴール 2着ゴール 2着タイム表示 リセット
(1着タイム表示)

計測中に ④ ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります。(スプリットマーク点灯)
計測終了後 ④ ボタンを押すと、計測値が 0 に戻ります。(リセット)

時刻・カレンダーの合わせ方

以下の操作は時刻・カレンダーモードで行ないます。

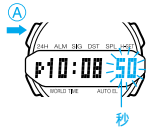
電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。

デジタル部時刻・カレンダーの合わせ方 (ホームタイム都市の設定)

(1) セット状態にする

時刻・カレンダーモードのとき、**(A)** ボタンを約2秒間押しします

→ 「秒」が点滅します。



(2) 秒合わせ...30秒以内の遅れ/進みの修正

時報に合わせて **(D)** ボタンを押します

→ 「00秒」からスタートします。



秒が00~29のときは切り捨てられ、30~59のときは1分繰り上がって「00秒」になります。(時報は「時報サービス117番」が便利です)

(3) サマータイム(DST)のON/OFFを選ぶ

(C) ボタンを押します

→ ONまたはOFFが点滅します。

OFF = 通常時間
ON = サマータイム設定



(D) ボタンを押します

→ ONまたはOFFが切り替わります。

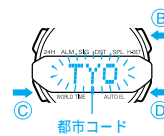
(4) ホームタイム都市を選ぶ

(C) ボタンを押します

→ 「都市コード」が点滅します。

(D) または **(B)** ボタンを押します

→ **(D)** ボタンを押すごとに「都市コード」が進み、**(B)** ボタンを押すごとに戻ります。
(「都市コード一覧」参照)

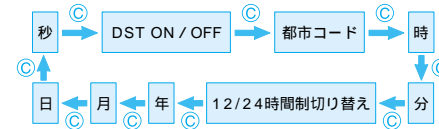


(D)・**(B)** ボタンとも、押し続けると早送りします。ホームタイム都市を設定してから、時刻セットを行なってください。

(5) 「時刻・カレンダー」合わせ

a. **(C)** ボタンを押します

→ **(C)** ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。



b. **(D)** または **(B)** ボタンを押します

→ **(D)** ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、**(B)** ボタンを押すごとに戻ります。

(D)・**(B)** ボタンとも、押し続けると早送りします。



a. ~ b. の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

「12/24時間制切り替え」のときは、**(D)** ボタンを押すごとに12時間制表示「12hour」と24時間制表示「24hour」とが切り替わります。「時」のセットのとき午前(A)/午後(P)または24時間制にご注意ください。「年」は2000~2039年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

(6) セットを終わる

(A) ボタンを押します

→ 点滅が止まり、セット完了です。

点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。

アナログ(針)部の合わせ方

準備: **(C)** ボタンを押して、針合わせモードにします。

(1) セット状態にする

(A) ボタンを約2秒間押しします

→ 「H-SET」マークが点滅して、セット状態になります。



(2) **(D)** ボタンを押します

→ 針が正転方向(進む方向)に進みますので、時刻を合わせます。

(D) ボタンを押すと、1/3分(20秒)進みます。押し続けると早く進みます。(針は逆方向には進みません)

(3) セットを終わる

(A) ボタンを押します

→ 点滅が止まり、セット完了です。

点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。操作のタイミングにより、針が少し遅れることがあります。このようなときは、もう一度セット状態にしてから針を1ステップか2ステップ進めてください。